S1000R ’21～ アルミ削り出し可変ハンドルバー①

AELLA

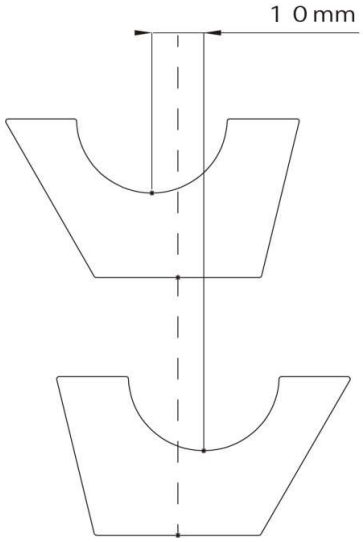
AE-27054
参考作業時間：60min

『取付要領書』

■この度はAELLA製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには、必ず専門の知識・技術を持たれる方が作業に当たって下さい。

①純正のハンドルよりスロットグリップ、右・左スイッチ、バーエンド、ブレーキ及びクラッチマスターシリンダーを取り外す。この際マスターのフルード漏れにご注意下さい。

②純正ハンドルクランプの下部を180度回転させて下さい。下図参照：約10mm奥になります
※これを怠るとタンクに干渉します。



③アエラ製ハンドルバーのセンター部（クランプ部）を仮止めして下さい。
※取り付ける向きに注意して下さい。別紙参照。

④角度調整用スペーサーを任意の位置に取り付け、ピンを差し込んで下さい。
※角度については別紙をご参照下さい。

⑤ハンドルバーの左右に注意してハンドルバーを付属のボルト（M12×30 P＝1．5）で仮止めして下さい。
※位置決め穴が内に寄っている方がR（ブレーキ側）です。

⑥スロットグリップ、右・左スイッチ、バーエンド、ブレーキ及びクラッチマスターシリンダーを仮止めして下さい。

⑦干渉に注意してポジションを調整して下さい。ハンドルロックが作動するかどうかもご確認下さい。
※ハンドルの絞り角度や高さの調整によっては、フューエルタンク等に干渉する場合があります。
※すべての部品が仮止めの為、無理な力を加えない様に注意して下さい。

⑧ポジションが決まりましたら、最初にアッパークランプボルトを本締めして下さい。

株式会社 AELLA
〒612-8473 京都市伏見区下鳥羽広長町218　TEL：075-622-7439

S1000R ’21～ アルミ削り出し可変ハンドルバー②

⑨次に角度調整用スペーサー部の取り付けネジを本締めして下さい。
この際、ハンドルバーを軽く補助しながら締め付けて下さい。
※ネジロック剤を使用：ロックタイト243（中強度）相当推奨
※締め付けトルク：60N･m

⑩残り全てのネジを本締めして下さい。

⑪最後に各部の締め付け確認、及び各部の干渉を確認して下さい。
※初回走行後を含め、定期的にネジの緩みなどを点検して下さい。
※トランスポーター等に積まれる場合、無理な力が加わりゆがみ・変形の恐れがございますので
ハンドルバー部を固定しないで下さい。

〇ハンドルバーと立ち上がり部の固定ボルト
ネジロック剤使用：ロックタイト243（中強度）相当推奨。 締め付けトルク：18N･m
※出荷時はネジロック剤を塗布し組立済みです。
※キャップボルトの穴はめっきが非常にのりにくい為、雨水等が残った場合すぐに錆びてしまいます。
水分が残らない様にして頂くか、付属のボルト穴カバーをご使用下さい。

〇ハンドルの交換により、車検証記載の車幅と±20mm以上の変更があった場合は
車検時に構造変更の届けが必要になる場合があります。

※ハンドルバーエンドを外す際は、バーが一緒に回らない様に押さえながら外して下さい。

アルマイト製品について

・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。 また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
・アルマイト厚みは、0．005mm～0．02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や
乗車時にブーツが擦れる箇所で摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分（接点）には色が付かない場合があります。

20240930

株式会社 AELLA
〒612-8473 京都市伏見区下鳥羽広長町218 TEL：075-622-7439